

～滝沢市民はどこで買い物をしているのか？～

令和2年度地域政策研究センター 地域協働研究【ステージⅠ】採択課題

課題名：地域と企業が共創する産業振興のための地域状況調査について

研究代表者：総合政策学部 准教授 市島 宗典

課題提案者：滝沢市 経済産業部 企業振興課

研究メンバー：三好 純矢（総合政策学部），市島研究室（総合政策学部）

熊谷 和久・松田 寛之（滝沢市 経済産業部 企業振興課）

キーワード：産業振興，地域，企業，共創社会，持続可能な社会

▼研究の概要（背景・目標）

・滝沢市においては、市内事業者の約9割が従業員数19人以下の事業者となっており、今後、少子化による事業継承者不足の問題や採用難の顕在化、技術革新に対応する資金不足に伴う競争力の低下による事業撤退や廃業のリスクを抱えるおそれがある。

・滝沢市内の事業所数の変化をみると、市民の日常生活に必要な不可欠な小売業、医療・福祉業、飲食サービス業のうち、小売業、飲食サービス業の事業所数が減少してきており、今後、高齢化が進展するにつれ、日常生活の買い物にも困窮する買い物弱者や交通弱者の増加が懸念される。

・滝沢市としては、中小企業等の事業者のみを考慮に入れた地域産業政策のみでは、将来の事業継続が立ち行かなくなる懸念があり、地域産業振興を下支えする、市・事業者・市民が共有できる根拠が必要となっている。

・本研究では、滝沢市における地域産業振興を下支えする、市・企業・市民が共有できる産業振興政策の展開のために、市民を対象とする地域状況調査を実施し、得られた知見を産業振興政策に反映させていくことを目的とする。

▼研究の内容（方法・経過）

・調査テーマ：産業振興政策のための地域状況調査

・調査期間：令和2年10月12日～10月31日

・調査対象：滝沢市民1,000名（層別抽出法）

・調査方法：郵送調査

▼研究の成果（結論・考察）

【表1：購買地域】

・食料品および日用品については、平常時、滝沢市内（居住地区内）で購入している市民が最も多いものの、盛岡市内で購入している市民も4割を超えている。家電製品については、盛岡市内で購入している市民が8割を超えている。一方、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛期間においては、滝沢市内、特に居住地区内で購入する市民が増加している。

【表2：購買理由】

・食料品および日用品については、平常時、「自宅から近い」が最も多く、次いで「品揃えが良い」となっている。家電製品については、「品揃えが良い」が最も多く、次いで「安い」となっている。一方、外出自粛期間においては、いずれの品目においても「自宅から近い」の割合が増加している。

【表3：購買満足度】

・日用品は8割程度、食料品および家電製品は7割程度が満足している。

表1 市民の購買地域

		市内		盛岡市	その他	合計
		(居住地区内)	(居住地区外)			
食料品	外出自粛中	155	25	76	4	260
		59.62%	9.62%	29.23%	1.54%	100%
	昨年同時期	126	25	104	4	259
		48.65%	9.65%	40.15%	1.54%	100%
日用品	外出自粛中	144	26	83	3	256
		56.25%	10.16%	32.42%	1.17%	100%
	昨年同時期	117	24	112	3	256
		45.70%	9.38%	43.75%	1.17%	100%
家電製品	外出自粛中	23	15	212	22	272
		8.46%	5.51%	77.94%	8.09%	100%
	昨年同時期	12	14	232	13	271
		4.43%	5.17%	85.61%	4.80%	100%

表2 市民の購買理由

		自宅から近い	職場の通り道	品揃えが良い	家族で買い物できる	安い	便利	その他	合計
		食料品	外出自粛中	156	24	34	1	12	14
		63.41%	9.76%	13.82%	0.41%	4.88%	5.69%	2.03%	100%
	昨年同時期	129	24	47	6	18	16	6	246
		52.44%	9.76%	19.11%	2.44%	7.32%	6.50%	2.44%	100%
日用品	外出自粛中	149	19	44	2	12	18	3	247
		60.32%	7.69%	17.81%	0.81%	4.86%	7.29%	1.21%	100%
	昨年同時期	122	25	57	6	15	20	3	248
		49.19%	10.08%	22.98%	2.42%	6.05%	8.06%	1.21%	100%
家電製品	外出自粛中	46	4	134	5	37	17	12	255
		18.04%	1.57%	52.55%	1.96%	14.51%	6.67%	4.71%	100%
	昨年同時期	35	3	144	7	42	15	11	257
		13.62%	1.17%	56.03%	2.72%	16.34%	5.84%	4.28%	100%

表3 市民の購買満足度

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	合計
		食料品	136	65	26	44	11
		48.23%	23.05%	9.22%	15.60%	3.90%	100%
日用品	143	83	27	22	8	283	
		50.53%	29.33%	9.54%	7.77%	2.83%	100%
家電製品	122	78	40	28	13	281	
		43.42%	27.76%	14.23%	9.96%	4.63%	100%

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

・滝沢市では、令和3年3月19日に「滝沢市産業振興条例」が市議会で可決され、同年4月1日より施行されている。令和3年度以降、同条例にもとづいた、産業振興にかかる政策・施策・事務事業に本研究の知見が反映され、順次、実施される予定である。また、その政策・施策・事務事業の実施により、滝沢市における産業振興政策が体系化されていくものと期待される。

・本研究の遂行に当たっては、課題提案者である滝沢市経済産業部企業振興課の皆さまに大変お世話になった。ここに記して感謝を申し上げる次第である。また、本研究において実施した地域状況調査にご協力いただいた滝沢市民の皆さまにもあわせて感謝を申し上げる。